

● 環境宣言

来たときよりも 美しく!

● フェアプレー宣言

ありがとう

あなたの笑顔と

そのマナー

氏名:



日連会員番号:

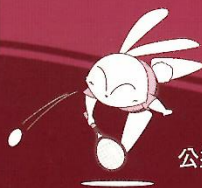
日連団体ID番号:

# ソフトテニス マナーBOOK

岐阜県ソフトテニス連盟 中学生版



中学校名:



公益財団法人 日本ソフトテニス連盟



※ 10ページまであります。

- ① 両面印刷をすると、そのまま冊子の状態になります。(白黒で結構です。)
- ② 下のいらぬ部分を切り落とします。
- ③ 真ん中をホッチキスで留めると冊子になります。
- ④ 全部員に配布し、表紙・裏表紙に必要事項を記入します。
- ⑤ ミーティングなどでしっかり読んで、内容を理解し、活動に生かしていきましょう。
- ⑥ 大会には必ず持っていきましょう。
- ⑦ 顧問の先生も携帯し、保護者にも周知徹底していきましょう。

※ 県連のホームページにも載せてあります。誰でも印刷できます。

トップページ 学生の部 [日程・要項](#) → [学生の部\(中学生\)](#) → [重要なお知らせ](#) → [「マナーBOOK」](#)  
をご覧ください。

※ 重要なお知らせの中には、「イエローカードガイドライン」や「登録」、「服装規定」が載せてあります。  
合わせて、ご覧ください。

## 目次

|               |    |
|---------------|----|
| フェアプレー宣言      | 2  |
| ソフトテニスとは      | 3  |
| 観客・応援者（大会会場）  | 4  |
| （試合中）         | 5  |
| 選手（フェアプレー7カ条） | 6  |
| （日常）          | 7  |
| （大会会場・練習）     | 8  |
| （試合中）         | 10 |
| 監督・コーチ（日常）    | 12 |
| （大会会場）        | 13 |
| （試合中）         | 14 |
| アンパイヤーのマナー    | 15 |
| 補助員のマナー       | 16 |
| 本部役員のマナー      | 17 |



ソフトテニス マスコットキャラクター「そふていー」

### ソフトテニス マナーBOOK

2016年 2月10日

編集・発行 公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

〒140-0014 東京都品川区大井1-16-2-201

TEL 03-6417-1654

FAX 03-6417-1664

監修 笠井 達夫

編集 環境・教育プロジェクト

委員長 川島 登

副委員長 篠邊 保

委員 柳下 秋久 安藤 正美 林田 正信

大川 京子 八木橋 勉 林 昭文

金岡 昭房 林 研一 玉木 進

- 「普段の生活の中でのマナー」と「競技するときのマナー」があることを認識して大会会場で選手に接しましょう。
- スポーツの基本であるルール、マナーを遵守し、フェアプレーに従い行動しましょう。
- 服装は役員と判断できるもので、シューズはテニスシューズを履きましょう。
- 試合開始前に会場全域をチェックする余裕をもって会場に入るよう心がけましょう。
- セレモニー（開会式、閉会式）には、選手及び関係者を迎える体制で早く並びましょう。
- 喫煙は、指定された場所を守りましょう。役員だからと特別はありません。
- すてきな行動（ゴミを拾ってくれていた。等）を見てあげましょう。良いことをした時にフィードバックで、マナー、フェアプレー精神を育てましょう。
- 指導した方が良いと思われることは、その場で進言・是正しましょう。  
…暴力的指導、サイドコーチ、指定場所以外での練習や喫煙、ゴミの散乱等
- 本部席からの応援や、雑談は控えましょう。



## フェアプレー宣言

私は、スポーツを愛する者として、  
何ごとにも全力で取り組み  
精神・肉体ともに成長させることに努めます。

そして、フェアプレーを通じて  
思いやり、誇り、努力、勇気を  
最大限に発揮し、その力を人に、地域に  
社会のために生かして行きます。

そのための具体的な行動として、  
「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」を  
実践していくことを宣言します。

公益財団法人日本体育協会  
スポーツ指導者のための「倫理ガイドライン」より



## ソフトテニスとは

- ルールを尊重し、相手を尊敬（リスペクト）するスポーツです。

## プレーヤーは

- 指導者や保護者、応援してくれる人たちへの感謝の気持ちを持つことが大切です。
- 審判員や大会関係者への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。
- ソフトテニスを通して、私たちは仲間とともに、生きていくうえでたくさんのことを学ぶことができます。

このBOOKは、ソフトテニスに関わる全ての人へ捧げます。

**みんなでより良いマナーを築いていきましょう。**



- 仕事内容をしっかりと理解しましょう。
- 補助員は、アンパイヤーと同様に、動作についてはキビキビとするように心がけましょう。
- 身だしなみはきちんとしましょう。
- 集合時間はしっかり守りましょう。
- 担当のコートに集中しましょう。
- 選手やチームに対し、公平な態度・気持ちで接し行動しましょう。
- トラブルが発生した時は、速やかに責任者に連絡しましょう。



- 言動が適切であるよう努めましょう。
- マッチが円滑で明朗に進行するよう努めましょう。
- 判定は公正に、時機を失しないように行いましょう。
- コールは大きな声で行いましょう。
- サインは明確に行いましょう。
- 他のアンパイヤーの判定区分は、その権限を侵さないようにしましょう。
- 正審は審判台上で足を組んだり、ぶらぶらさせたりしないようにしましょう。
- 副審は、待機中後ろに手を組んだり、よそ見をしたりしないようにしましょう。
- 移動する際は、駆け足又は早足で行い、だらだらした動作はやめましょう。
- タオル等を首に巻いたり、手に持ったまま審判を行うのはやめましょう。
- ルール違反には毅然とした態度でイエローカードを出す勇気を持ちましょう。
- 「レッツプレー」は、タイミング良く大きな声でコールしましょう。
- 大会主催・主管団体が特に指定する場合を除き、ソフトテニスにおいて通常使用される服装、シューズを使用しましょう。
- アンパイヤーを担当する時は、公認審判員ワッペンを左胸に着用しましょう。



## 大会会場でのマナー

## 「会場に、そして観客相互に思いやり！」

- 試合観戦中や会場周囲の地域も含め、迷惑になるような言葉や行動は慎みましょう。
- 駐車・駐輪は指定された場所を利用しマナーを守り、安心安全を心がけましょう。
- 喫煙は指定された場所でのみ行い、吸い殻などの投げ捨ては止めましょう。喫煙場所でも近くに生徒や子供がいる場合は、喫煙を自粛しましょう。
- 観客席や通路にシートを敷いたり、荷物を置いての占拠は、やめましょう。三脚等の通路での使用は止めましょう。
- プライベートテントは、大会本部の許可を得て支障のない場所に、風対策などをし、安全に設置しましょう。
- 開場と同時に走っての場所取りは、危険ですので控えましょう。
- ゴミの持ち帰りはもちろん、周囲のゴミも拾いましょう。「来たときよりも美しく！」



## 試合中の応援マナー

## 【気持ちよいプレーのできる応援を！】

- インプレー中やアンパイヤーのコール時は静かにしましょう。
- 応援席からの選手へのアドバイスはやめましょう。
- アンパイヤーや対戦相手を攻めるような発言は慎みましょう。
- 相手のミスに対しての拍手や、喜びを表す大きな声は慎みましょう。
- 傘を使用する場合は、黒色系で反射性の少ない物を使いましょう。
- 写真及びビデオ撮影は主催者の指示に従いましょう。
- フラッシュやストロボの使用は自粛しましょう。
- 好プレーには、敵味方なく、拍手を送りましょう。
- 複数での応援は他の観客の迷惑にならないように心がけましょう。



## 試合中のマナー

- 移動時間を考えて、コーチングの時間は40秒程度で行いましょう。アドバイスは決められた時期、時間、場所で行いましょう。
- インプレー中のアドバイスはやめましょう。
- ボールを拾いながらのアドバイスはやめましょう。
- コートの外からのアドバイスはやめましょう。
- サインプレーはアドバイスになりますので、やめましょう。
- アンパイヤーの判定には、決められたルールの範囲で質問し、判定の最終結果は尊重し、素直に従いましょう。
- 周りを不快にする大声でのアドバイスは、控えましょう。
- 選手達の好プレーには、拍手をして讃えましょう。
- コートへ入る際はプレーヤーと同等の服装を心がけましょう。
- 傘を使用する場合は、黒色系で反射性の少ない物を使いましょう。
- 相手のミスによるポイントに対して、奇声や過剰なジェスチャーはやめましょう。また、プレーヤーにも注意を与えましょう。
- 団体戦においては挨拶時にあくしゅをして、お互いの健闘を讃えましょう。





## 大会会場でのマナー

- 駐車や喫煙は、指定された場所を守り、選手や保護者等の見本となるとともに指導も行いましょう。
- 喫煙場所でのアドバイスは止めましょう。
- ルールや規約、大会要項等に規定のない事項であっても、常識ある言葉や行動に心掛けましょう。
- 役員や補助員に感謝の気持ちを持って接しましょう。
- 待機場所では自らがみんなの見本となるような態度をとりましょう。
- ゴミの後始末や忘れ物をしないよう周囲に気を配るとともに、選手や保護者にも指導しましょう。
- 大会会場は、選手が全力で戦う神聖な場所です。サンダルやスリッパで歩き回することは止めましょう。
- 折り畳みのイスを使用する場合は、大会本部の許可を取り、プレーに支障のないように注意しましょう。
- プレーヤーは一生懸命プレーしています。雑談等をせずに、プレーをしっかりと見てあげましょう。



## 『あくしゅ・あいさつ・ありがとう』

大会参加のマナーについて、日本体育協会の「フェアプレー7カ条」があります。試合に臨む心構えとしてあるのは、

- 約束を守ろう
- 感謝しよう
- 全力をつくそう
- 挑戦しよう
- 仲間を信じよう
- 思いやりを持とう
- 楽しもう

の7つです。

試合前、アンパイヤーの指示でネットをはさんで、向き合い、相手に、それからアンパイヤーにあいさつをします。

## 『お願いします』

試合後、ネットをはさんで、相手に、それからアンパイヤーにあいさつをして、あくしゅをしましょう。

## 『ありがとうございました』



## 日常のマナー

## 日常生活のルールも守りましょう。

- あいさつをし仲間への思いやりを持ちましょう。
- 服装が乱れていないかチェックしましょう。
- 施設の用具は大切に使いましょう。
- 言葉の暴力に気をつけましょう。
- ソフトテニスができる環境に感謝しましょう。



## 日常のマナー

- セクハラ、パワハラを含むモラルハラスメントや暴力は絶対にやめましょう。
- いかなる場合も差別的な、言葉や行動は慎みましょう。
- 不適切な経理処理、金銭や接待等の強要、受領は絶対やめましょう。
- 選手の見本となる、スポーツマンシップやフェアプレーを常に心がけましょう。
- 経験が無くて指導者になられた方や保護者の方にもルールやマナーを知ってもらうように努めましょう。
- 公認審判員資格・公認指導員資格を持ちましょう。





- 対戦相手に向かって、ガッツポーズをして、威嚇するような行動はしないようにしましょう。
- アンパイヤーの判定には、決められたルールで質問し、判定の最終結果は尊重し、素直に従いましょう。
- 試合中の服装はユニフォーム等の着用基準に従い、身だしなみに気を付けましょう。
- 試合が終わったら、お互いを尊重し、相手に対して尊敬（リスペクト）の気持ちを持って健闘を讃えあい、対戦相手としっかりあくしゅをしましょう。



### 大会会場でのマナー

- 会場への移動時は、他人に迷惑を掛けないようにしましょう。
- 荷物を整理して通行の妨げにならないようにしましょう。
- 仲間との会話は周りに迷惑にならないようにしましょう。
- コートでは、譲り合って練習を行いましょう。
- ラケットを置く等の場所取りはしないようにしましょう。
- お互いに平等な環境で練習ができるようにしましょう。
- コートへ入る時は、テニスシューズを履きましょう。
- 返球やボールを渡すときはていねいにしましょう。
- 着替える時は、周りに気遣いましょう。
- 率先して準備や後かたづけをしましょう。
  - コート整備
  - ボールの空気調整等
- 練習開始時には、「お願いします」練習終了時には「ありがとうございました」を実践しましょう。
- ボール拾いは積極的に、早く行いましょう。



- 観客席などに荷物を置かないようにしましょう。やむを得ず荷物を置く場合は、整理をして多くの人が利用できるように心がけましょう。
- ペットボトルやゴミは持ち帰り、ゴミを出さないようにしましょう。
- 練習終了後は、コート整備をしてから帰りましょう。
- 決められた場所以外では練習をしないようにしましょう。
- ふさわしい服装で練習しましょう。
- 開会式には参加しましょう。
- 表彰式にはユニフォームで臨みましょう。
- 大会会場は、お互いが全力で戦う神聖な場所です。サンダルやスリッパで歩き回ることは止めましょう。



### 試合中のマナー

- スポーツマンシップにのっとり、ルールを正しく理解し、ルールを守り公正な態度でフェアプレーを心がけましょう。
- 試合中は、対戦相手と試合をジャッジしてくれるアンパイヤーへの尊敬（リスペクト）と感謝の気持ちを持ってプレーしましょう。
- アンパイヤーから「レディ」「レッツプレー」がかかったら、速やかに、プレーに入りましょう。
- 連続したプレーになるようにペアとの過度な打ち合わせはしないようにしましょう。（ファーストサービスとセカンドサービスとの間の打合せや1ポイントごとに駆け寄り話す等）
- サーブを打つときには、相手が、レシーブの構えをとってから、サービスしよう。特にセカンドサービスを打つとき
- 過度な掛け声や相手のミスに対して、相手が不快になるような言葉（「ラッキー」「もうけ」等）は相手に向かって発しないようにしましょう。

